

「京まふ2013」の主なポイント（前回からの主な変更点）

point 1 海外への発信強化

- (1) JAPAN EXPO（ジャパン・エキスポ）とのパートナーシップ提携を締結
フランス・パリで約20万人が来場する世界最大の日本関連イベント「JAPAN EXPO」が今年からアメリカでも行われ、京都を含めた3都市を繋ぐイベント連携を展開
【連携展開案】
➢ 巡回パネル展の実施（フランス7/4～7→アメリカ8月→京都9/7～8）
➢ 国内メディア、国外メディアへの相互情報発信 など
- (2) 海外メディア等への発信強化
➢ JAPAN EXPOとの相互情報発信のほか、台湾、香港、韓国、北米等のメディアと協力し、フェアの情報を発信
➢ 留学生によるフェイスブックやツイッター等を活用した情報発信
- (3) 外国人は入場料（通常1,000円）が無料！
海外からの観光客や国内居住の留学生の誘客を図るため、パスポートを提示した場合、入場料を無料に！

point 2 商品開発の充実

- マンガ・アニメと京都市内企業を中心とした関西圏企業とのタイアップ商品（京まふ限定）の開発を充実！
前回の18商品30種類を超える30商品50種類の商品化を目指す！

<参考：前回の京まふ限定商品（18商品）事例>
あぶらとり紙、和紙ファイル、石鹸セット、クッキー（3商品）、八ツ橋、ブックカバー、扇子、手ぬぐい、純米酒、梅酒、iPhoneジャケット、iPhoneケース、ウッドキーホルダー、絵馬、Tシャツ、お守り



【手ぬぐい】



【絵馬】

point 3 フェアの規模拡大

- 会場を全館貸し切ったことにより、以下の部分を充実
※ 前は3階と地下1階のみ（1階は別団体の催事）
- 出展ゾーンの拡大（約100小間→約120小間）※1小間：3m×3m
3階をすべて出展ゾーンにすることにより、小間数を拡大
- ステージの拡大
抽選制のメインステージの他にどなたでも自由に観覧できるサブステージを追加
- キャラ食ゾーンの創設
マンガ・アニメとタイアップしたドリンク、フードコーナーを創設

point 4 京都ゆかりの作品が続々出展予定！

- 前回以上に、京都を舞台にした作品が出展予定！
今後、商品開発を含めたタイアップ展開を検討

and more...

<有頂天家族>



◎森見登美彦・幻冬舎/
「有頂天家族」製作委員会

<ちはやふる>



◎末次由紀/
講談社・VAP・NTV

<劇場版 薄桜鬼>



◎IF・DF/
「劇場版 薄桜鬼」製作委員会